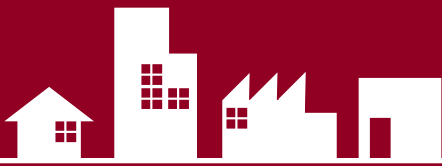


ぶぎんのあるまじ



シリーズ第11回 与野

アートストリートエリア (地図②)



アートストリートに並ぶ手形レリーフ



与野本町駅前公園 (地図①)

文化・芸術のまち 与野

(さいたま市中央区)

様々なオブジェが楽しめる与野本町駅前公園から、さいたま芸術劇場に続くアートストリートには、青とピンクのバナーが、芸術劇場へのエントランスとして訪れる人々を出迎えます。芸術劇場がある「たつみ通り」の与野西中学校周辺には、故・蛭川幸雄氏が演出を手掛けた「彩の国シェークスピア・シリーズ」に出演したスターたちの手形レリーフが設置されています。

(地図③) 彩の国さいたま芸術劇場

故・蛭川幸雄氏が創り上げた高齢者演劇集団「さいたまゴールド・シアター」は、元気で豊かな高齢社会の在り方を示し続けています。また、次代を担う俳優の卵である「さいたまネクスト・シアター」をはじめ、地元の大学や小・中・高校などと連携して芸術文化に関わる様々な人材育成にも取り組むなど「創造する劇場」として埼玉から日本全国、世界に向け芸術文化の発信を行っています。



演劇、ダンス、音楽など、多彩な舞台芸術を堪能できる、国内外で評判の劇場です。劇場全体が一つの都市空間の様で、吹抜の円形広場やギャラリーなど、建物も見ごたえがあります。



写真提供 (公社) さいたま観光国際協会

与野公園 (地図④)

明治10年に開設された約51,000平方メートルの緑の公園で、桜とバラの名所として有名です。染井吉野の桜が約300本のほか、約170種以上約3000株のバラが咲き誇り、毎年5月中旬には「バラまつり」が開かれます。また、与野七福神の一つの天祖神社（寿老神）もあり、お正月には多くの観光客で賑わいます。



写真提供 (公社) さいたま観光国際協会

与野の歴史は古く、中世では鎌倉街道の要路にあたり、市場が開かれ、江戸時代には甲州街道と奥州街道を結ぶ脇往還の人馬継立場として、また中山道浦和宿と川越を結ぶ川越浦和道の経由地として栄え、幕末期には大宮宿・浦和宿よりも家数が多かったといえます。現在でも、北は氷川神社から南は芸術劇場あたりまでの与野本町通りに、明治・大正期に建てられた蔵造りの家が残っています。



⑤本町通り沿いに残る蔵造りの家



与野七福神

与野七福神は2時間程度で巡ることができ、街歩きとしても人気があります。毎年、1月3日には七福神仮装パレードが開かれます。



一 氷川神社 (福祿寿)



三 天祖神社 (寿老神)



四 御嶽社 (弁財天)



六 圓福寺 (布袋尊)

五 圓乗院 (大黒天)

鎌倉時代の武将・畠山重忠が創建、慶長の時代に当地へ移建した名刹。山門の右側にある高さ30mの多宝塔は、日本で3番目の大きさで、本堂右側にある高さ6mのシダレザクラは「圓乗院の千代桜」として市の天然記念物に指定されています。



写真提供 (公社) さいたま観光国際協会